講義名	英語B(総合)						教科書								
NH9 372, [2]						秋件音 .Berlitz English for University Students book 1, 4th edition. Berlitz Japan., Inc. 約2,500円									
担当教員	Romney Cameron							nto book 1, 4th cartron.				borritz bapant, mot	"J2.0001J		
	後期 金曜日 2時限			授業形態 講	義	1									
						1 ┣──								<u> </u>	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考		プロ	ント資料及び参考文	<b>赴</b>		<u> </u>				<u> </u>	
	· 1 -		<u>-</u>				ts may be given in class as need		ent, the handout wi	II be uploaded to th	ne LMS.				
主題と概要 This class is designed to get students to feel more comfortable with spoken English. The aim is to improve practical and basic English skills, especially oral communication skills, including a review of the English content studied in high school. Students will also be encouraged to actively use English to communicate with others.						授業中にプリントを配布する。欠席									
このコースでは受講生の皆さんに安語による口語コミュニケーションに習熟してもらうための授業を実施します。具体的なコースの目的は、高校での学習内容も含め、特にオーラルコミュニケーションにお げる実践的かご基本的な実施のスキルを向上させることです。授業では積極的に英語でコミュニケーションを実践してください。															
ける実践的かつ基本的な英語のスキルを向上させることです。授業では積極的に英語でコミュニケーションを実践してください。						授業計画									
								•							
						2. 英語の3つの黄金律 3. Unit 2. 他者を紹介する 4. Unit 3. ●の物についてます									
						1、安協のションの第34 //mit1.目CHM7 2、Mit2・2の考え後かする 3. Mit2 化酸素剤がする 4. Mit3.食べ物について話す 5. Mit4.レストランで注めする 6. Mit5.日本について話す 7. Mit6.号生注志や将来について話す									
						//.unito.チェニがやかたし/いて話す 8.unit7.レビュー 9.unit8.曹段の隠装について話す									
							7 (Dut 6、デモ活動や物本しびに通り 5 (Dut 6 ) デモ活動や物本しびに通り 5 (Dut 6 ) 最初の意実について話す 10. Uni 13 、実限ごうUrt話す 12. Uni 11 、実用にの対象電気である 14. Uni 11 、操作の対象であるのある。								
							12. Unit11. M:TOUTINGを以てる 13. Unit12. 場所の説明をする 14. Unit13. 連長者はる/道案内する 15. Unit14. レビュー								
						15. UNI	IT 14. VCI-								
到達目標						11									
・Improve listening ability リスニング力を向上させる。															
• Improve conversation ability 会話力を向上させる。															
<ul> <li>Understand cultural differences between English speakers 英語話者と日本語話者との文化的な違いを理解できる。</li> </ul>	and Japanese speakers														
					授業	形態(アクティブ・ <sup></sup>	ラーニング)								
							ア:PBL(課題解決型学習)			0	<ul> <li>イ:反転授業(知識習得の要素を</li> <li>エ:グループワーク</li> </ul>	授業外に済ませ、知識確認	等の要素を教室で行	う授業形態)	
							ウ:ディスカッション、ディベー オ:プレゼンテーション	F		0	エ:クルーフワーク カ:実習、フィールドワーク				
提出課題							キ:その他(A L 型であるけども、	、以上の項目のいずれにも	該当しない場合)						
There will be homework every week listed on the LMS. Stude	ents will need to do their homewor	rk online before the ne	ext class. If stude	ents are absent, they	still need to do the homework.				· · ·						
毎週の課題は「講義連絡」に掲示する。受講生は翌週の授業まで	!にオンラインの課題をする。欠席し!	た場合でも課題をしなけれ	1ばならない。				<u>学修(予習・復習等</u> :lass will begin with a small qui					extbook (two hours). The	re will also be a k	homework assignment	
						each w	eek based on the textbook and cl	lassroom activities ( two	o hours).						
						#四、	授業のはじめに前回の授業内容に関	引9 るジ1 人を失施 9 るので	(、) = ト1990(特徴の)	/復当して準備を9 るこ	- C。(2时间)毋凹、我科吉や技業	活動に基づく課題がめるの	て、取り組むこと。	(20318)	
						卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連									
Each week the class will begin with a review of the answers for the homework and small quizzes.						本コースでは英語での基本的かつ実用的な英語によるコミュニケーションスキルを修得する。日常のさまざまな場面を想定し、スピーキングやリスニングを積み裏ねて、実践的なコミュニケーション能力の向上を図 ることにより、国際理解を求め、卒業時に必要なプローバル社会で活躍できるコミュニケーション部分の行っなが、されらの協力は南学部生に求められる各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経 済学部生に求められる経済によっわる情報分析のカ・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。									
毎回、授業のはじめに前週の課題の解説とクイズを実施する。						済字部	生に求められる経済にまつわる情報	総分析の刀・人間社会字部生	Eに求められるコミュ	ニケーション能力の恫	◎得に役立つ。				
評価の基準															
Participation: 30% 授業参加 Quizzes: 20% クイズ Homework: 25% 増増額															
Homework: 25% 課題 Final Exam: 25% 定期試験								「の江田に間する	z ≐⊐:#						
						Both t	向授業の実施及びICT he homework and the quizzes in t	this class will be online	e. Students will ne	ed to bring an inte	rnet connected device, such as a	smartphone or tablet (i	Pad), to class even	ry week. They will	
						also n	eed to upload their homework to クイズはオンラインで実施する。受	the Learning Management	System (LMS) each	week.					
							,								
						実務	経験の有無及び活用								
履修にあたっての注意・助言他															
This class requires active participation and attendance. S more than five times.	Students will lose points if they	do not actively partic	ipate. Students wi	ill not be able to pas	s the class if they are absent										
授業に出席し、積極的に参加することを求めます。積極的に参加	]していない場合は、減点対象となり	ます。5回以上欠席すると	単位を取得すること	ができません。											
						備考									
						Please attend	note: The language of this clas ance, grades and other procedura	ss is English. Students a al matters.	are expected to com	municate with the i	nstructor in English both inside	and outside of the class	sroom, including co	ommunication about	
							項:この授業の言語は英語です。出								
1						11									